

平成 16 年度第 1 回廃棄物減量等推進審議会議事録

平成 16 年 4 月 26 日（月）午後 1 時 30 分～3 時 30 分

市役所 5 階全員協議会室

出席委員 坂崎会長、関谷副会長、寺尾委員、竹本委員、山谷委員、渡辺委員、梶田委員、
坂田委員、硯見委員、土本委員

欠席委員 藤浪委員、加藤委員、吉川委員

事務局 今井環境経済部長、河田環境課長、仙石、吉川

会長 本日は引き続き廃棄物処理手数料と生ごみ対策についてご審議願う。

（資料に基づき、事務局より説明。6 月 26 日に循環型社会システムシンポジウムを開催し
ごみ処理手数料値上げについて議論してもらう予定である旨を報告）

委員 御嵩町が高く、土岐市が安いのはなぜか。

事務局 御嵩町は産廃処分場反対の立場から町全体としてごみ減量に取り組む必要性から
ごみ袋の値段が高い。土岐市は、税金でごみ処理をするのが当然だという考え方。
美化の観点から統一したごみ袋は必要だとしているため、販売経費のみの値段に
なっている。土岐市はごみ袋の販売は歳入歳出には計上されていない。

司会 3 つのことが必要だと考えるがどうか。

①いかに市民の意見を吸い上げるか、意見を反映するしくみが必要であり、減量審
の役割を含めどう確立していくか。②わかりやすい制度やしくみづくりの提案、ど
うわかりやすく説明するか。③より専門的な第三者的、中立的な意見を聞く。

委員 地域説明会をやったほうがいい。シンポジウムで意見を聞いておしまいというので
はいけない。

事務局 平成 9 年に袋を有料にしたときは、区単位で 60 回程度開催したが、どの段階で説
明会をするか、そのタイミングが難しい。どう考えるかとボールを投げるような説
明かでは收拾がつかないし、方向性がある程度固まっていないとやりにくい。経過
措置（旧ごみ袋との交換等）を含めた具体的な内容でないと。

司会 今の現状がこうだからということで説明会をしたほうがよい。

委員 値上しなければならない理由をきちんと地域で説明しないとはいけない。シンポジウ
ムなどには家庭の主婦は出ない。

事務局 校区別地区懇談会が春と秋の 2 回ある。最初に問題提起をすることは可能。

委員 値上げというより、負担の仕方を変えるということ。税金として払っているものを
ごみ処理費として払う（出す量に比例して負担する）ことになるので、結果として
還元になるということをあわせて説明しないとはいけない。

委員 税金が安くなるということにならないと市民は納得しない。

事務局 市民税を割り引くことは、法的・技術的に無理。10 億円を現金でお返しするので
はなく、例えば高齢化社会のための財源にするとか、広い意味で還元することを理

解してもらえるかどうか。平成 9 年有料化の時には苦肉の策で、基金へ積み立てをし、リサイクルやごみ減量をがんばった人に対し還元することにした。

司会 どこまで情報公開するのか、タイミング等を含め何ができるか。最後は市議会が決めることで、市民の意見集約が最終ではない。

委員 実費負担について地域で説明してはどうか。

事務局 処理・収集・建設費用も含めて説明をしたらどうかと考えている。

委員 合併のときのように行政言葉でなく、わかりやすく市民に説明し、上げなければやっていけない事情を説明してほしい。

委員 市側の目標数値は正直なところ何%か。

事務局 正直なところない。将来予測で財源が 30%不足することや施策として負担の平等ということを考えると御嵩町の 50 円までは可能かと思うが。

委員 事業系ごみのことは触れられていないが、値上げになるのか。

事務局 3 年に 1 回の使用料手数料の見直しの中で財政当局は 50%が限度だと言っていたので、段階的に近づける努力をする。

委員 今子供にお金がかかる年代であり、また忙しい。理由を聞くだけなら説明会でなく広報を見れば十分。

委員 市が値上げしたいのなら仕方ないと思っている。23 分別のときは主婦が多く集まった。説明会を開いて十分な説明をしてほしい。

委員 値上げは当たり前。ただし税収が上がればただでもいいのでは。

委員 広報でごみの減らし方の案内をしては？

委員 広報にシリーズでわかりやすい説明をしてから説明会をしたら効果的では。「ごみを捨てることはお金がかかる」ということをみんなが意識し考えてもらわないといけない。

委員 リサイクルステーションでゴミ袋が値上げされたらどうかと問いかけてみた。若い人は困ると言い、年配者は、土岐市は安いのにどうしてなのかと言っていた。

司会 ベースになる信頼関係やコストの知識がなければいけない。情報公開は奥が深いと思う。

委員 広報はなかなか読んでもらえない。チラシや回覧などで目立つようにしないと。

事務局 平成 9 年当時は、マスコミもごみ問題を多く取り上げており、相乗効果で関心が高まっていた。なぜ値上げなのか理由は一つだけでない。公平性、財政状況、少子高齢化への財政投入などどのように説明していくかだ。

委員 説明会への案内を防災無線で流すとたくさん参加してもらえる。

委員 ごみ回収を週 2 回から 1 回にしたら経費節減できないか。

事務局 週 3 回にしてほしいという要望もあるくらいなので難しい。

司会 生ごみ対策について

事務局 現在事業系生ごみ調査を取りまとめている。事業所の 2/3 は一般廃棄物収集運搬

業者により収集されている。事業系のうち 50%が生ごみである。

委員 生ごみの補助制度はあるか。

事務局 家庭用生ごみ処理機購入補助制度はある。

委員 家庭系と事業系の比率はどうか。

事務局 家庭系ごみが全体の 7 割、うち 4 割が生ごみ。事業系ごみが全体の 3 割のうち 5 割が生ごみ。生ごみの占める割合は $28\% + 15\% = 43\%$ と推計する。1 つの方法で生ごみの問題を解決することは不可能であり、いくつかの方法を組み合わせた対策について意見をお聞きできればと考える。

委員 事業所の生ごみ対策はどのような。補助制度はあるか。

事務局 今はない。事業所で多く出しているところはあるが、リサイクルするより市の施設で燃やしたほうが安い。多治見市で安く受け入れすぎているのが問題。

委員 事業所からは、処理相当分の料金をもらえばよい。

委員 商品を売るときにごみ処理費を上乗せすればよい。

委員 スーパーで売れ残った野菜を処分価格で売っている。ごみ処理を払うより安く売ったほうがメリットがある。

事務局 企業はごみ処理費を払うことでリサイクルしやすい物づくりをするようになるが、市のレベルではできない。零細企業では市の施策が経営に影響する。食品リサイクル法によりリサイクル義務はあるが努力目標になってしまっている。廃棄物収集運搬業者がリサイクルプラントを立ち上げればリサイクルが一気に進む可能性はある。木や草は袋がたくさん必要。チップ化するなど対策が必要。

委員 枝は指定袋に入れると破れてしまう。指定のロープにしてほしい。

司会 次回は知識等の共有、施設の見学、専門家の意見についても検討したい。

(その他)

*6 月 26 日の循環型社会システム構想シンポジウムの内容について提案。A 段階終了の総括とごみ袋値上げについての討論会を実施予定。

*多治見を美しくする市民の会と市が共催で開催する 4 月 29 日の美化条例制定記念シンポジウムへの参加要請。

◎次回は、5 月 25 日（火）午後 1:30～